

イデックスオイルレポート ~For a month~

(株)新出光

【月次概況】

●第1週、6/7のWTI原油は、先週比1.46ドル安の75.53ドルとなりました。米労働省が朝方発表した5月の雇用統計は、総じて強めの数字が並び、労働市場の底堅さを示唆する内容。市場が警戒する石油輸出国機構(OPEC)を中心とした有力産油国による減産規模縮小を巡り、サウジアラビアのアブドラアジズ・エネルギー相は6日、状況次第で停止や撤回が可能との考えを表明した。

●第2週、6/14のWTI原油は、先週比2.92ドル高の78.45ドルとなりました。石油輸出国機構(OPEC)は今週公表した月報で、2024年の世界の石油需要見通しを従来の水準に据え置いた。米エネルギー情報局(EIA)は24年の石油・液化燃料の需要見通しを若干上方修正した。米連邦準備制度理事会(FRB)は12日公表した最新の政策金利見通しで、年内の利下げ回数の想定を3回から1回に引き下げた。

●第3週、6/21のWTI原油は、先週比2.28ドル高の80.73ドルとなりました。S&Pグローバルが発表した6月のユーロ圏HCOB総合購買担当者景気指数(PMI)速報値が50.8と、市場予想(ロイター通信調べ)の52.5を下回った。これを受けて、ユーロ圏内の景気先行きに警戒感が広がり、外国為替市場では対ユーロでドル高が先行。ドル建てで取引される商品の割高感につながり、原油の重しとなった。

●第4週、6/28のWTI原油は、先週比0.81ドル高の81.54ドルとなりました。米エネルギー情報局(EIA)は28日付の石油供給に関する月報で、4月の米石油生産量と需要は4カ月ぶりの高水準となる一方、4月のガソリン需要は日量883万バレルと、2月以来の水準に低下したと明らかにした。夏季の旅行客の増加で燃料需要が拡大するとの期待は強いものの、低調なガソリン需要を示す統計を受け、原油は売りに押された。

6月平均	WTI原油	78.70ドル	前月比	0.08ドル	為替 1ドル	158.89円	前月差	1.64円
------	-------	---------	-----	--------	--------	---------	-----	-------

日付	補助金	変動幅	変動幅
6/1~6/5	25.7	±0	±0
6/6~6/12	26.2	+0.5	+0.5
6/13~6/19	21.1	-5.0	-5.0
6/20~6/26	24.0	+3.5	+3.5
6/27~6/30	25.8	+3.0	+3.0

【単位:円/KL】

メニュー価格推移	0.5HPP		ENEOS LS船用燃料油基準価格	
	2024年1-3月C重油決定価格	95,490	98,020	95,490(メニュー) + 2,530(プレミアム)
2024年4-6月C重油仮価格	103,500	105,910	103,500(メニュー) + 2,410(プレミアム)	
2024年4-6月C重油決定価格	102,800	104,800	102,800(メニュー) + 2,000(プレミアム)	
決定価格1-3月比	7,310	6,780		

【単位:円/KL】

内航燃料油価格推移	適合C重油		A重油	
	2024年1-3月決定価格	103,420	106,500	
2024年4-6月仮価格	111,310			
2024年4-6月決定価格	110,200	116,400		
決定価格1-3月比	6,780	9,900		

CIF価格推移	年/月	9析速報	原油CIF価格	通関CIF	為替レート	原油CIF価格
			円/KL	ドル/bbl	円/ドル	前月比
	24/5	9析速報	86,896	88.86	155.47	5,124
	24/6	最終予測	87,060	88.47	156.45	164
	24/7	展望	82,929	86.17	153.00	-4,131
	24/8	展望	80,722	85.56	150.00	-2,207

【次世代エネルギー】〈デンソーが本家でエネルギー・マネジメント、EVの電池劣化抑制にも挑戦〉

デンソーは2024年6月17日、EV(電気自動車)を活用したエネルギー・マネジメントシステムをデンソー本社内に導入し、移動やオフィスカーボンニュートラルにする実証を開始したと発表した。

実証では、クルマとさまざまなモノとの間で情報やエネルギーを連携させるV2X(Vehicle to X)システムを導入。太陽光発電装置(オンサイトとオフサイト)と社有車の約20台のEV、定置用蓄電池の間で電力を最適に活用することで、社有車のEVとデンソー本社の6階建てオフィスのカーボンニュートラルを目指す。定置用蓄電池はトヨタ自動車製だ。太陽光発電の電力をオフィスに供給し、昼間に余剰電力が発生する場合は社有車のEVや定置用蓄電池に電気をため、夜間にオフィス向けに放電するなど、再生可能エネルギーの自家消費率を高める。

今回導入するV2Xシステムは、デンソーが独自開発した。自動車部品の開発で培った制御技術の知見や品質管理のノウハウを生かしているという。従来は満充電になるまでEVを充電するのが一般的で、満充電の状態が続くとリチウムイオン電池が劣化し、1回の充電で走行できる距離が減少する可能性がある。デンソーは、充放電を最適に制御して適切な充電量でEVを管理することで電池の劣化を抑制する技術を開発しており、今回の実証を通じて電池の劣化を検証する。

出典: MONOist <https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2406/17/news133.html>

【7月価格変動要因】

●需要: 燃料需要は例年と比較し低調であるものの、燃料のデリバリーにはロジスティクス上の問題もあり、国内でも一部空港における航空燃料の確保が困難になる等といった事象が確認されている。また、OPECの協調減産が長引き、重質油の供給が抑制される中、米国やその他地域で中軽質油の生産が増加しており、結果として軽質油と重質油の価格差が縮小していることも指摘されている。

●地政学: イスラエルとレバノンのイスラム教シーア派勢力ヒズボラとの本格交戦が迫っており、中東情勢緊迫化への懸念が引き続き原油相場の下値支えの材料となっている。また、イランでは大統領選の投票が28日から始まっている。出馬が認められた候補は保守強硬派が過半を占め、最有力候補のガリバフ氏もライシ師同様の反米路線を継続するものとみられる。イスラエルの戦闘も長期化しており、足元では継戦能力について疑問視する声も聞かれる。

●経済・金融: 6月末から投票が始まるフランス下院選で極右政党が躍進する公算が高まったことが背景。フランスの財政悪化が懸念されたことでフランス国債の信用が低下して売りが優勢となった。現時点では国民連合側からマクロン仏大統領と協調路線を進む方針が明らかにされており、懸念は一旦後退している。

また、中国が過剰生産能力を背景に輸出を強めており、一部業種における製造業の活動は活発化しているものの、米中貿易摩擦の問題が先鋭化してきている。欧州や米国の製造業は振幅を伴いながらも緩やかな回復の途上にあり、直近のPMIを見ても脱インフレへの道筋が出来つつある。

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	92	89
Average	86	83
Low	80	77

<3ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	92	88
Average	85	81
Low	78	74

日付	国	7月経済指標カレンダー	日付	国	7月経済指標カレンダー
1	日本	4-6月期日銀短観・四半期大企業製造業業況判断	17	ユーロ	6月消費者物価指数(HICP、改定値)
1	米国	6月ISM製造業景況指数	18	ユーロ	欧州中央銀行(ECB)政策金利
2	ユーロ	6月消費者物価指数(HICP、速報値)	18	ユーロ	ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見
2	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、発言	19	日本	6月全国消費者物価指数(CPI)
3	米国	6月ADP雇用統計	25	米国	4-6月期四半期実質国内総生産(GDP、速報値)
3	米国	6月ISM非製造業景況指数(総合)	26	米国	6月個人消費支出(PCEデフレーター)
3	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨	30	ユーロ	4-6月期四半期域内総生産(GDP、速報値)
5	米国	6月非農業部門雇用者数変化	31	日本	植田和男日銀総裁、定例記者会見
5	米国	6月失業率	31	ユーロ	7月消費者物価指数(HICP、速報値)
5	米国	6月平均時給	31	米国	7月ADP雇用統計
11	米国	6月消費者物価指数(CPI)	31	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表
16	米国	6月小売売上高	31	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見